



ドイツからやってきた国際交流員(CIR)の
アネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文
化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中！
<https://tagawacir.wordpress.com>

スマホ、携帯電話は
こちらから

QRコード➡



ドイツの子どもたちの安眠を守る「Unser Sandmännchen」

ドイツの子どもたちが寝る時間を楽しみにしている理由は、ドイツのアニメ番組に登場する「Sandmännchen」というキャラクターがいるからです。「Unser Sandmännchen」(私たちの砂小男)は、1959年から毎日の夕方10分間に放送されている子ども向けのアニメ番組です。砂小男は、サンタクローズと同じ白いひげのある小さな男性です。「眠りの砂」を麻袋で運び、毎回子どもたちの家を訪ねて、寝る前の子どもたちと一緒に短編映画



ウンザー サンドメンヒェン

アーベントグルース
「Abendgruß」(夜のあいさつ)を見ます。映画を見た後、砂小男は麻袋から「眠りの砂」を取り出して、子どもにふりかけます。すると、子どもたちはすぐに眠たくなり、安心して眠ることができるのです。番組が初めて放送された1959年は、ドイツが西ドイツと東ドイツに分かれていたので、東西ドイツが統一されるまでは、2つの「Unser Sandmännchen」の番組が放映されていました。現在では、東ドイツの「Sandmännchen」が残り、今でもドイツ全国の子どもたちに愛されています。

今日の言葉
グーテ ナハト
Gute Nacht (お休みなさい)